

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M314Z201		研究室配属 (Practical Research Experience Program : PREP)					研究科目								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
必修	2	2	医学部先進医療科学科	後期	木5	日本語		英語		複数(共同)					
担当教員	氏名 全教員														
	E-mail 内線														
授業の概要	研究活動に従事している医師・研究者から早期に研究指導を受けることにより、研究の重要性・醍醐味を知り、研究的探究心（リサーチマインド）を育むことを目的とする。また、将来の科学研究を担う融合人材、且つ研究チームの一員として協調的な学修環境の中で問題解決能力を高め、幅広い研究領域に対する学修意欲の向上につなげる。研究室配属 は、研究活動における基礎的な内容（研究倫理、基本的な実験技術、論文検索・講読方法等）について学修し、研究室配属 への基盤科目とする。														
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	研究倫理（各々の研究に対する倫理指針と法律）を理解する。								○			○			
目標2	研究は、科学の発展や患者の利益増進を目的としていることを説明できる。											○	○		
目標3	講義・教科書・論文等の内容から、重要事項や問題点を抽出できる。								○					○	
目標4	得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理することができる。								○		○		○	○	
目標5	講義・実習で得た知識をもとに、実験や解析ができる。								○	○				○	
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度（計10）									3	2	2	1	1	1	
授業の内容															
1	・特定の研究テーマに焦点を絞り、それを扱う研究室で実際の研究活動に従事し経験を深める。														
2	・様々な研究テーマの存在について知り、それらのテーマを解明するための方法論を実践することを通して、発見の喜び、研究者の苦悩、研究者間の交流や情報														
3	交換などに直接触れる機会を持つ。														
4	・研究室で行われている研究・実験の補佐から共同研究者としての活動、実験やフィールドで得られたデータの 処理や解析などを指導教員や														
5	大学院生とともに行う。														
6	・「研究室配属」の期間終了後、成果をレポートにて提出する。														
7	・研究室配属実行委員を学生から選出し、配属先の決定等の企画運営を含め、専任教員の指導を仰ぎながら全て学生主導で行う。														
8	・将来の学会運営と発表のシミュレーションを行うことも目的とする。														
9	[研究成果のレポート提出]														
10	1. 報告書														
11	指導教員の指示に従い、期間内(先行配属期間も含む)に実施した内容をまとめる(下記参照)。														
12	また、報告書の成作に当たっては、実施内容を実習参加学生にも理解できるよう努める。このことで学生の研究実施分野以外の領域への理解を深め、今後の														
13	学習意欲の向上を図る。														
14	(例)「課題解決研究」のまとめ方														
15	目的(研究背景)、方法、結果(図表を含めてもよい)、考察、（必要であれば）参考文献といった一般的な論文形式でまとめることとする。														
ライクニング	A:知識の定着・確認	○	A：研究プロセスを繰り返し復習する。					工夫その他の	・グループワークや口頭発表を行い、研究計画や結果について他の学生や教員と意見を交換する。 ・担当教員と研究結果の実践応用について議論する。						
	B:意見の表現・交換	○	B：同じ領域の学生や教員との意見交換を行う。												
	C:応用志向		：研究実践活動、レポート作成												
	D:知識の活用・創造	○													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	文献検索に慣れる。原著論文などさまざまな形式の論文を読む。（ 30 h ）。													
	事後学修	研究結果について、他の学生や教員と議論する。（ 30 h ）。													
	想定時間合計	60													
教科書	なし														
参考書	なし														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
	研究への取り組み方		20%	○	○	○	○	○						
	レポート提出		80%	○	○	○	○	○						
注意事項														
備考														
リンク														
			URL											
担当教員の 実務経験の有無			○											
教員の 実務経験			医師、臨床検査技師、臨床工学技士											
教員以外で 指導に関わる 実務経験者の有無			○											
教員以外の 指導に関わる 実務経験者			医師、臨床検査技師、臨床工学技士											
実務経験を いかした教育内容			医師・臨床検査技師・臨床工学技士・研究者としての経験から課題を抽出し、研究の方法や進め方、結果の解釈および考察の仕方の実際についての学習を支援する。											